



關部共同作業所だより

國部共同作業所發行

〒622 京都市伏見区西堀町上木崎

No. 28

精神障害者と生活権 同和問題を通して、地域や職場で人権問題に対する研修が進められていて中で、精神障害者の生活する権利について考みてみると、まだまだ地域に理解されていないとうに思われる。

ある精神障害者に関することで、家族もなく一人暮らしをしていて、障害により病院に入院し、治療後、自宅へ帰ることになったが、隣近所からも、精神障害者はこわいという印象がぬぐいきられず、病院やソーシャルワーカー、福祉担当職員が、今後の生活について、相談を受けている現状であるが、せめて、日常生活の中では、対等の立場「こわいという思いをすべて」共存できないものかと考えさせられる。

今後の人権研修の場では、この問題に対する理解者や協力者を一人でも多く増やしていくことが家族会も含め関係者の課題として真剣に考えていく必要がある。

美しい色ガラス　園部共同作業所だよりにこれまでもステンドグラスの取り組みが幾度か紹介されたことがあります。ですが、ステンドグラスは何だろうかと思われる方も多いのではないでしょか。ステンドグラスは九世紀頃、色ガラスのカケラを組み合わせてデザインし、窓に木枠や大理石板の囲い窓にはめ込んだものが原型といわれています。現在もヨーロッパ各地の大聖堂に見られる優雅な立派なステンドグラスは十一世紀～十四世紀にかけて発達しました。キリスト教の信仰や伝導の手段として建造されたステンドグラスは今なお大に保存され色鮮やかで美しい神秘的な光を放ち、多くの人に感動と安らぎを与えてます。

日本にステンドグラスが伝わったのは明治初期のことです。明治末から大正の初めには、日本の風土や国民性、建物の性格等をふまえた作品が主たる公共物やカフ工等に取り入れられましたが、日本では外国と違ったものか信仰と結びついたものは余りない様です。

私達、團部共同作業所も自主製品として、身近において楽しめる小物作りを目標にステンドグラスと取り組んで早五年、試行錯誤の結果、ミニランプ、テラリウム、ベン立て、コースター、小物入れ等を商品化してきました。また昨年からフュージング（色ガラスを電気釜で焼く）による装飾品としてベンダント、イヤリング、指輪、ネクタイピン、カフスボタン等かわいいジュエリーもガラスに加わりました。

A black and white woodblock-style illustration. In the center, a person wearing a wide-brimmed hat and a long coat is seated on a large, craggy rock. They are leaning forward, holding a long, thin staff or stick horizontally in front of them. To their left, a small, dark dog stands on the ground. The background is filled with stylized, swirling patterns representing mist or clouds.

昭和に入り戦争によつて下火となつてゐたステンドグラスも戦後、建築様式や生活スタイルの変化によつて再び見直され、ここ十四・五年前より身近な手工芸としてブームとなり、私達の生活の中にも取り入れられるようになりました。

ステンドグラス、フュージング取り組み班六名
皆元気に頑張っています
唯、作業所の取り組みは
作品作りは第二の問題では
如何に通所者の一人ひとりが
自分が将来を見据え
現在の状況の中で精神的
身体的に安定した前向き
の姿勢をつかむことが出来
いるかが大切なことだと
思います。
ステンドグラスの取り
組みを通して微力ながら
そのお手伝いが出来れば
と思っています。

昨暮にはギャラリーモデル庵で作品展示と即売会を催し、皆様のご協力によりつて完売することが出来ました。園部共同作業所独自のカラーリーフレットもでき、次々と注文も頂くようになります。が、何分にも一つひとつが手作りのため大量生産できませんし、根気と技を要するものですから、ひとつの作品を完成させるにも、その人の得意分野で持ち前を發揮し共同作業でやつとひとつのお品が出来上がるのですから苦労もありますが、ともに完成の喜びを味わうこともできるのです。最近は意欲的な参加に加え、集中力も技術も向上し、美しい作品が完成するようになつてきまし

スティンドクラスに
思うこと

「こんにちは」と初対面の人たちが、頭を下げて僕たちの横を通り過ぎて行きます。三上山は標高四三〇メートル位の小さな山です。その石段を少しづつ登つて行きます。僕はいっしょに登つてくる人たちのことを考え、まず先へ先へと急ぎました。またみんなが来るのが遅いなあと思い少し広い所で待ちました。中には少し体力のない人もいます。男性が三人女性が三人のメンバーです。山登りは

三上山に登って
僕たちは、予定通りに、
三上山に行くことになりました。三上山は、近江富士といつて、富士山の
ような形のよい山です。以前に作業所から旅行で滋賀県へ行く機会があつて眺めたときには何か伝説があると聞いていた所で

行事	・レクレーション
四月	九日 花見（植物園）
四月二六日	京家連卓球大会
六月	京都市障害者スポーツセンターにおいて 席便席する
五月	四日 三上山登山
五月二二日	茶摘み（日吉町八榮にて）
六月	三日 ソフトボーラー試合
	保津グランドにて
	桜ヶ丘クイーンズと対戦
六月	四日 歯科検診
保健所において	
歯科医の検診と歯の正しい みがき方について	



「茶摘み」
五月二十二日、日吉町へお茶摘みに行って来ました。茶の木が大きくなつていきたのでメンバーの数をふやして。おかげで黒田指導員さんは作業所のワゴンに乗れず、ご自宅から現地直行。それでもメンバーの一人はワゴンの「荷物」にならなければなりませんでした。

卓球大会 四月二六日京都市障害者スポーツセンターで卓球大会がありました。最初は応援のつもりで来ただけですが、一チームに女性の人たちがたりなかつたので、先生から君も出たらと言わされたので、出ました。お昼は二階でお弁当を食べました。おいしかったです。でも、残念にもどしてしまいました。少し休憩してから、一階へおりて卓球大会の部屋へ行きました。一回目は私は、二十一対二で負け

職員紹介 よろしくお願ひします
五月から勤務しております
ます永田です。今まで、
亀岡市内の中学校や、丹波
波多江学校で十年勤務し
てまいりました。思春期の生徒たちや、身体の不
自由な生徒たちと共に学
びつつ、私自身も自分の人生に有為な力を育むこ
とができました。

今回、縁あってこちらの園部共同作業所に勤務
させていただくことになりましたのも、何か不思
議な、そして今までそうであったように意味ある
巡り合わせのように感じております。

私は、できることはほんのわずかですが、力を尽
くしたいと思っております。
どうかよろしくお願ひします。



いよいよ夏本番です。
すぐに海水浴（山良）
そして夏休（お盆休）が
来ます。休みだ、暑いと
冷たいものばかり暴飲暴
食しないように、作業所
では、話し合っている今
日この頃です。
皆様も夏ばてにはご用
心を。